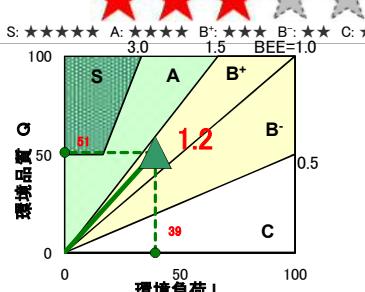
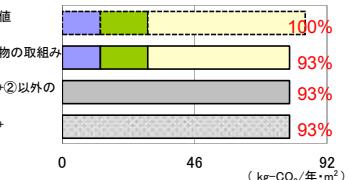
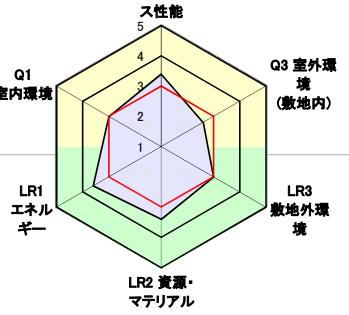


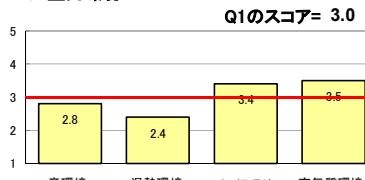
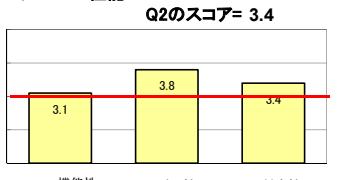
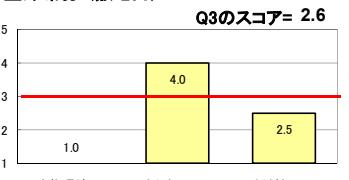
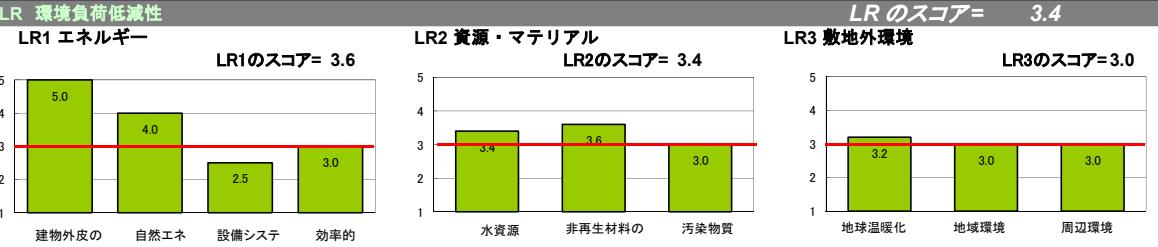
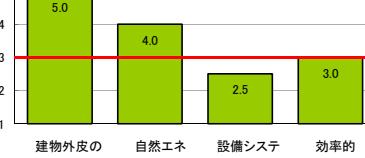
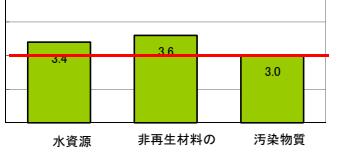
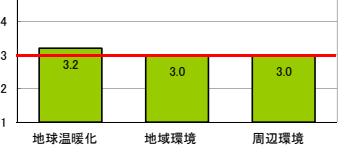
■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西尾警察署庁舎	階数	地上6F
建設地	愛知県西尾市寄生町下田14-1、9、11	構造	RC造
用途地域	商業地域・準防火地域	平均居住人員	100人
気候区分	西尾警察署 6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年11月1日
敷地面積	3,844 m <sup>2</sup>	作成者	岩月亮士
建築面積	914 m <sup>2</sup>	確認日	2018年11月1日
延床面積	4,261 m <sup>2</sup>	確認者	岩月亮士

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.2 ★★★★☆	S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B+: ★★★★ B: ★★★ C: ★★	30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★	標準計算	Q2 サービス性能	
				Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境 (敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境	
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです	Q のスコア = 3.0	Q3 のスコア = 2.6			

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質	Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4	
Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.6	
LR 環境負荷低減性 LR のスコア= 3.4	
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6	
LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4	
LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0	

3 重点項目	
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化
3.2	1.0
	
外構緑化指標(外構緑化面積/外構面積) 0.8 %	建物緑化指標(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用
3.6	3.0
	
<外装材に使用した地域性のある材料> 県産木材 <建物の構造材・内装材、外装に使用した地域性のある素材> なし	

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3-1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性

LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3-1 生物環境の保全と創出

外構緑化指標 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・木・被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指標 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$





<b>3 対応性・更新性</b>			0.2	3.4	0.29		-	3.4
<b>3.1 空間のゆとり</b>			0.2	4.6	0.31		-	
1 階高のゆとり				5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			0.2	3.0	0.31		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			0.2	3.0	0.38		-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22		-	
<b>G3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30		-	2.6
<b>1 生物環境の保全と創出</b>	独自③				1.0	0.30		-
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	独自④				4.0	0.40		-
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			0.2	2.5	0.30		-	2.5
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>	独自④				2.0	0.50		-
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>					3.0	0.50		-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-		-	3.4
<b>LR1 エネルギー</b>					-	0.40		-
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI=0.74			5.0	0.30		-
<b>2 自然エネルギー利用</b>		ハイサイドライトを設置			4.0	0.20		-
<b>3 設備システムの高効率化</b>					2.5	0.30		-
<b>4 効率的運用</b>					3.0	0.20		-
集合住宅以外の評価					3.0	1.00		-
4.1 モニタリング					3.0	0.50		-
4.2 運用管理体制					3.0	0.50		-
集合住宅の評価					-		-	
4.1 モニタリング					3.0	-		-
4.2 運用管理体制					3.0	-		-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					-	0.30		-
<b>1 水資源保護</b>			0.1	3.4	0.15		-	3.4
<b>1.1 節水</b>		節水型器具、擬音装置を採用			4.0	0.40		-
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			0.1	3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67		-
2 雜排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33		-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			0.5	3.6	0.63		-	3.6
<b>2.1 材料使用量の削減</b>					3.0	0.07		-
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>	②				3.0	0.24		-
<b>2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用</b>	独自	木質系セメント板、磁器質タイル			3.0	0.20		-
<b>2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>					4.0	0.20		-
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>					3.0	0.05		-
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>	独自	スケルトンインフィルを採用			5.0	0.24		-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			0.1	3.0	0.22		-	3.0
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			0.1	3.0	0.32		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			0.1	3.0	0.68		-	
1 消火剤					-		-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50		-
3 冷媒					3.0	0.50		-
<b>LR3 敷地外環境</b>					-	0.30		-
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	①				3.2	0.33		-
<b>2 地域環境への配慮</b>			0.2	3.0	0.33		-	3.0
<b>2.1 大気汚染防止</b>					3.0	0.25		-
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>					3.0	0.50		-
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			0.2	3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減	独自				3.0	0.25		-
2 污水処理負荷抑制		余裕のある駐車場及び来庁舎と職員の動線分離			3.0	0.25		-
3 交通負荷抑制	独自				4.0	0.25		-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25		-
<b>3 周辺環境への配慮</b>			0.2	3.0	0.33		-	3.0
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			0.2	3.0	0.40		-	
1 騒音	独自				3.0	1.00		-
2 振動	独自				-	-		-
3 悪臭					-	-		-
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			0.2	3.0	0.40		-	
1 風害の抑制					3.0	0.70		-
2 砂塵の抑制					3.0	0.30		-
3 日照阻害の抑制					3.0	0.20		-
<b>3.3 光害の抑制</b>			0.2	3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70		-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30		-

## 重点項目スコアシート

西尾警察署庁舎

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.2</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.6</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.8	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0.8%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>3.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	2.0	-	県産木材
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{\text{（評価点} \times \text{全体に対する重み})}{\text{重みの総和}}$   
 重点項目スコア=

④地域材の活用  
 重点項目スコア=評価ポイントの合計 + 1

## ■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 西尾警察署庁舎

計画上の配慮事項	
総合	<p>3つの基本方針</p> <p>①大規模災害でも防災拠点として存在感を示す、信頼の警察署</p> <p>②ノンストップの警察機能を支える建築技術で市民の安全を守り続ける警察署</p> <p>③動線分離を徹底した施設構成により、機動力の高い警察署</p>
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてルーバーを用いた日射制御</li> <li>・各諸室のグレードに応じて適切な仕上の採用</li> <li>・内装仕上にF☆☆☆☆☆を全面的に採用</li> <li>・建物内禁煙</li> </ul>
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスしやすいバルコニー・屋上設備スペース</li> <li>・重要度係数I=1.5</li> <li>・熱源に電気／ガスを採用、重要室は非常用発電機により災害時対応</li> <li>・緊急用汚水槽設置</li> <li>・受変電設備・自家発電機を屋上に設置、通信関係室を5階に設置</li> </ul>
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段・傾斜路が無く、滑りにくく平坦な表面仕上</li> <li>・エントランスに大きな庇を計画</li> </ul>
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてルーバーを用いた日射制御</li> <li>・開口部に複層ガラスの採用</li> <li>・高効率機器の採用</li> <li>・節水型衛生器具、擬音装置の採用</li> </ul>
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・躯体と内装仕上げの分離が容易、OAフロアの採用</li> <li>・F☆☆☆☆☆の建材使用</li> </ul>
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な駐車場</li> <li>・敷地外への騒音・振動の配慮</li> </ul>
その他	特になし